

幹事会の今後の進め方等について（案）

1. 基本的な考え方

- (1) 2020年東京大会は、ICT分野の最先端の技術、サービスを世界に示す絶好の機会。
- (2) こうした技術やサービスは、2020年以降、国内外における資産（レガシー）として持続、発展させることを前提に、開発、実装されることが不可欠。
- (3) 以上に向け、本懇談会は、構成員で共有し得るアクションプラン（目標と実行計画、推進体制）を策定することを目標。

2. これまでの経緯

懇談会発足（H26.11.14）以降、これまで幹事会を二回開催し、以下を実施。

- (1) セキュリティに関する推進組織が新たな参加。また、デジタルサイネージについてはWGを立ち上げ（H26.12.25）。
- (2) 無料公衆Wi-Fi、多言語翻訳、4K・8Kなどの分野について、産学官の推進組織より、現在検討中の目標、実施計画等について報告。
- (3) ロンドン、ソチ五輪におけるICTの利活用の状況について、BTジャパン、日本マイクロソフトから報告。

3. 今後の進め方

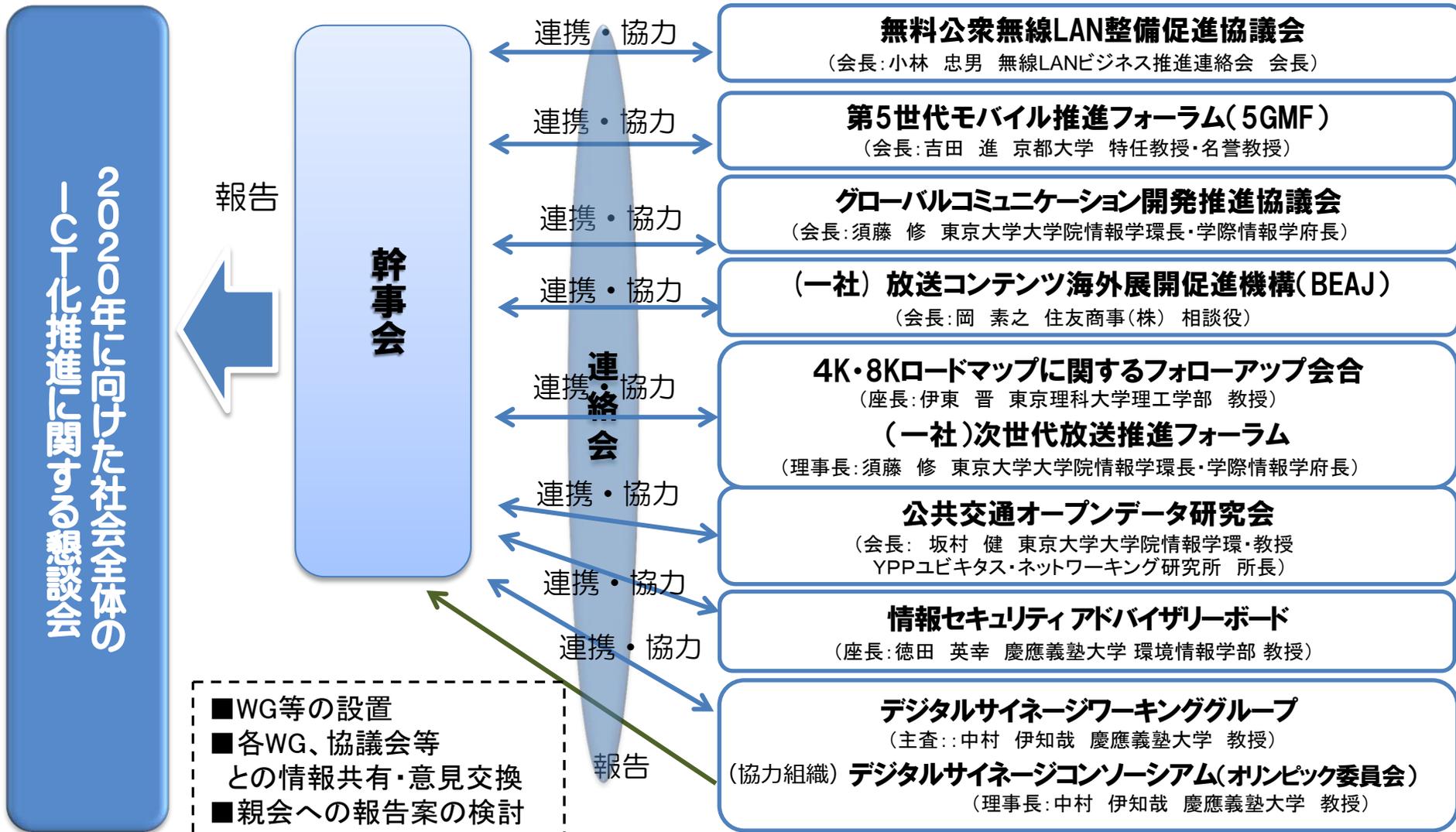
「世界最高水準の我が国のICTインフラ」及び「その高度な利活用」を世界に提示することを前提に、以下を中心に目標、推進体制を具体化。

- (1) 無料公衆Wi-Fi、第5世代移動通信技術など、ICTインフラの高度化
- (2) 4K・8Kなど超高精細映像、ビッグデータ・オープンデータなど高度な利活用の推進
- (3) 以上を支える、ICTのセキュリティの確保
- (4) 今後、追加すべき事項について

(1) 社会全体のICT化の推進に向けたアクションプランの検討

- ① 実現を図るべき事項 (無料公衆無線LAN環境の整備促進、ICTを活用した多言語対応、放送コンテンツの海外展開、4K8Kやデジタルサイネージの推進、第5世代移動通信システムの実現、オープンデータ等の活用等)
- ② 目標とすべき時期

(2) 官民の役割分担の明確化



無料公衆無線LAN環境整備促進

- ◆ 無料公衆無線LAN整備促進協議会
- ◆ 地方のポテンシャルを引き出すテレワークやWi-Fi等の活用に関する研究会

第5世代移動通信システムの実現

- ◆ 第5世代モバイル推進フォーラム

ICTを活用した多言語対応

- ◆ グローバルコミュニケーション開発推進協議会

放送コンテンツの海外展開

- ◆ 一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構

4K・8Kの推進

- ◆ 4K・8Kロードマップに関するフォローアップ会合
- ◆ 一般社団法人次世代放送推進フォーラム

オープンデータ等の活用

- ◆ 公共交通オープンデータ研究会

情報セキュリティの推進

- ◆ 情報セキュリティアドバイザリーボード

デジタルサイネージの推進

- ◆ デジタルサイネージWG
- ◆ デジタルサイネージコンソーシアム

- 研究会にて、地方公共団体の整備について議論中
- 2015年2月に実態調査にアンケートを行い、その後に整備の方針を作成
- 2015年度に実証実験(手続き簡素化)を行い、その後に手続きの簡素化を実現

- 2015年度～ 5Gの研究開発の加速、国際標準化
- 2017年度～ 無線+ネットワーク+アプリによる実証
- 2019年 5G向け周波数の国際分配、関係制度整備

- 2015年度～ 多言語音声翻訳技術の研究開発、技術実証
- 2018年度～ 大規模社会実証

- 2014年度中ASEAN6か国への放送コンテンツの展開

- 2015年 CS・CATV・IPTVによる4K実用放送開始
- 2016年 BSによる4K・8K試験放送開始
- 2018年 BS等による4K・8K実用放送開始

- 2015年 公共交通情報提供のための標準PF構築
- 2016年 公共交通オープンデータサービス提供開始
- 2018年 公共交通情報のワンストップサービス実現

- 2015年1月に戦略WGを立ち上げ、議論中
- サイバーセキュリティ戦略本部等と連携して対策を推進

- 2014年2月、デジタルサイネージWGを立ち上げ、議論。
- クラウド技術を活用した相互接続の確保、ICTショーケース等について、推進体制含め、検討。

懇談会における議論等を踏まえてロードマップ策定

2020
オリンピック・パラリンピック東京大会

社会全体のICT化レガシー創出

他国における五輪大会(ロンドン、ソチ、リオ、平昌)ICT活用状況等も参考に検討を実施。